

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人にじの会 にじアート放課後等デイサービス (にじアート児童デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年12月23日		～ 2026年1月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年12月23日		～ 2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活介護事業所との多機能事業所の為、様々な活動や環境配慮に取り組み易い。また、夏休み等の学校休業期間には、法人全体の施設を活用した活動も実施できる。	複数の部屋の使用が可能の為、活動内容によって部屋を分けたり、情緒面、体調面が不調な児童がクールダウンしたり静養する場も設定しやすい。また、夏休みには、法人の他施設でプールの活動を実施したり、就労支援施設のレストランを利用し、安全な環境で、外食の経験や練習を設定できる。	子どもたちにも保護者にも好評な外食練習やプールの活動回数が増やせるように、検討試行していきたい。
2	生活介護事業所の成人利用者との交流を通じて、子どもたちが異年齢の利用者と接する経験できる。また、法入行事に保護者も参加できる為、成人期の生活等のイメージを持つことができる。	夏休み等の日中支援期間を中心に、成人利用者との合同活動を企画し、交流の機会を設定している。また、保護者に向けて、法入行事を周知し、参加を推進している。	合同活動の機会を増やせるよう検討試行していく。特に楽しさと安全に注力し、子どもたち、成人利用者双方にとって良い経験となるような企画を検討する。また、法入行事に参加が難しい保護者に対して、動画等を視聴できるような機会を検討する。
3	「にじの会まつり」「にじアートまつり」「文化行事」等多様な地域に開かれた法人イベントがある。	にじの会まつり、にじアートまつり、文化行事等、地域の方をお招きするイベントに、利用児、保護者も参加できる機会を設定し、周知している。	コロナ以前に実施していた地域の方との活動体験を感染状況等を考慮しながら、再開を検討していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今年度の自己評価の回答を通じて、事業所の運営や取り組み状況に対する状況の把握や認識等に、スタッフ間の差異が見られた。	人事異動や新規の配属等で、所属職員の放課後等デイサービス事業所での勤務期間に差異があり、それに伴い状況把握や認識等に違いがあった。	日々の打合せや会議を通じて、利用児の直接支援に関することだけでなく、事業所の運営状況や法律に関することなど、チームで共有する場や時間を設定する。
2	地域の同世代の子どもたちとの交流の機会が少ない。	保護者の方々それぞれに思いや考え方があり、保護者の意向に沿った形で交流の機会を検討したい。	保護者の意向も伺いながら、地域図書館や公共施設での交流の場や機会を活用し、イベント等に定期的に参加するところから試行していく。
3	防災、防犯対策、避難訓練等を全利用児を対象に実施する機会が設定し難い。	多機能事業所の特性上、防災、防犯対策、避難訓練等、合同で実施することが多い為。	今年度は、防災、防犯等の安全意識の向上、放課後等デイサービス事業所独自の避難訓練等の機会を増やし、活動を通じて取り組めるようにする。